令和 5年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生涯学習推進課／文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	233,781,000円(令和5年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		R05 下半期	R05 上半期	R04 下半期	R04 上半期	R03 下半期
利用者数(単位:人)		73,492	59,377	58,933	51,051	42,597
各室稼働状況(%)	大研修室	78.9	75.7	75.9	78.5	68.3
	中研修室	90.6	87.0	88.2	85.3	71.0
	研修室50	91.2	81.9	85.9	87.6	68.0
	研修室30	90.6	90.4	90.0	85.3	75.8
	小研修室1	95.3	94.4	98.2	94.4	91.4
	小研修室2	90.6	85.9	90.6	84.2	74.1
	小研修室3	91.2	92.1	87.6	79.1	74.1
	小研修室4	93.6	91.5	95.3	94.9	85.0
	和室研修室1	23.4	13.0	29.4	16.9	8.5
	和室研修室2	78.4	73.4	82.9	70.1	64.6
	音楽スタジオ大	78.9	73.4	64.7	63.8	58.1
	音楽スタジオ小1	83.6	72.9	67.1	66.1	66.6
	音楽スタジオ小2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6
	パソコンルーム	74.9	71.8	78.8	74.0	63.9
クラフト室	66.1	61.6	64.1	54.2	45.5	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	① 供用日・供用時間の遵守 ② 適切な人員配置 ③ 広報の方策 ④ 苦情への対応	① 適切な運用が行われている。 ② 適切な運用が行われている。 ③ ホームページ、広報誌、各種情報誌、ラジオ、SNSなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④ アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ① 生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ② 地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③ 生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④ 生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ① 学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ② 情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③ 交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④ 相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ① 参加・参画の促進 ～市民一人ひとり、誰もが主役の場づくり～ ② 文化芸術を担う人材の育成、顕彰 ～人づくりと活躍の場づくり～ ③ 文化芸術施設の充実 ～誰もが使いやすい拠点づくり～ ④ 文化財・伝統文化の継承や活用 ～「岐阜」を伝える絆づくり～ ⑤ 文化芸術を生かしたまちの活性化 ～活力に溢れた地域づくり～ ⑥ 協働による文化芸術の推進 ～みんなで文化芸術を育てる社会づくり～	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ① ハートフルレクチャー4講座開催、474人受講。各種団体(岐阜市埋蔵文化財調査事務所)との連携講座1講座開催、71人受講。国際講座1講座開催、55人受講。ITコラボレーター会と協働のパソコン講座第3、4期開催、184人受講。 ② 市民講師養成事業2講座開催、167人受講。市民講師ステップアップ講座2講座開催、18人受講。ボランティア講座1講座開催、43人受講。市民自主講座18講座開講、延べ688人受講。R6年度市民自主講座開設希望者説明会3回開催、67人参加。 ③ ハートフルフェスタを開催。にぎわい創出事業2公演開催。生涯学習・社会教育関連施設職員のための研修講座1講座開催、14人参加。生涯学習・ボランティア通信誌の発行(Vol.93、94) ④ 市民活動ルームを運営(延べ1,561人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(656件の相談、57件のボランティアコーディネート)。広報誌「ボランティア通信」12回掲載。 2. 男女共同参画推進業務 ① お出かけお迎え！男女共同参画講座、心とからだ・性の健康関連講座、男女共同参画セミナーの3事業を実施し、延べ95人受講。 ② インスタグラム、Xによる情報発信、また「ワーク・ライフ・バランス及び女性に対する暴力をなくす運動」や「女性の健康週間および国際女性デー」に合わせた展示を実施。男女共同参画情報誌「織」を発行。 ③ ハートフルネットぎふ例会を4回実施。交流イベントとしてハートフルフェスタを実施。講座・展示で2,939人参加。 ④ 面接・電話相談を実施。延べ相談件数599件(面接相談:113件、電話相談:486件)。あんしんつながりステーションを開設、延べ相談件数265件(面接相談:135件、電話相談:125件、メール相談:5件) 3. 市民芸術文化振興業務 ・岐阜市民文化祭の開催【①、②、③、④】 中心市街地にある生涯学習センター、文化センター等の施設にて、芸術祭(5部門、40公演、出演者504人)、美術展覧会(7部門、入賞入選306点)、文芸祭(一般:9部門、入選入賞347点/小中:6部門、入選入賞298点)を開催した。 ・岐阜市芸術文化協会との連携【①、②、④、⑥】 リレートーク(下半期1回)、まちかどコンサート(下半期2回)の開催、広報誌の発行(7月、11月、3月)。 ・文化事業助成(岐阜市民芸術文化・スポーツ基金)【②、⑤、⑥】 下期は8件を選定し助成した。 ・岐阜市芸術文化奨励賞【②、⑥】 岐阜市芸術文化奨励賞を2組に授与した。
施設管理	日常点検(保全)業務 ① 施設管理 ② 警備業務 ③ 清掃・受付 ④ 駐車場管理 ⑤ ごみ収集 ⑥ 消防設備点検(自主点検) ⑦ 不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ① 消防設備点検(年2回) ② 空気環境測定(年6回) ③ 飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) " (16・13項目)(年2回) " (12項目)(年1回) ④ 貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤ 排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦ 家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧ 昇降機保守点検(年1回) ⑨ 自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩ 建築設備点検(年1回) ⑪ 建築物点検(3年に1回) 定期点検業務 ① 昇降機保守点検(年12回) ② 自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③ 空調設備(総合)保守点検(年2回) ④ 空調設備(GHP)保守点検(年1回) ⑤ 自動扉保守点検(年4回) ⑥ 駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦ 駐車場料金精算設備保守点検(年3回) ⑧ パソコン及び周辺機器保守点検(年4回)	日常点検(保全)業務 ① 良好 ② 良好 ③ 良好 ④ 良好 ⑤ 良好 ⑥ 特記事項なし ⑦ 特記事項なし 法定点検業務 ① 2/27に実施 ② 11/15、1/17、3/19に実施 ③ 毎週水曜日に実施 1/30に実施 上半期に実施 ④ 1/30に実施 ⑤ 2/27に実施 ⑥ 3/1～15に実施 ⑦ 11/10、1/16、3/11に実施 ⑧ 10/31に実施 ⑨ 2/27に実施 ⑩ 2/27～3/31に実施 ⑪ 次回は令和7年度に実施 定期点検業務 ① 保全点検:10/31、1/30に実施 リモート点検:毎月実施 ② 10/31、11/28、12/26、1/30、2/27、3/26に実施 ③ 11/28に実施 ④ 上半期に実施、1/30部品交換 ⑤ 12/26、3/26に実施 ⑥ 11/28に実施 ⑦ 11/28、3/26に実施 ⑧ 10/31、3/26に実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどを行っている。 ③関係法令を遵守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	実施期間：10/15～21、11/8～14、12/3～9、1/8～14、2/12～18、3/5～11 アンケート総数：272件
利用者アンケートの実施結果	<p>○利用した部屋は 大研修室 7.4%、中研修室 7.7%、研修室50 6.3%、研修室30 7.4%、小研修室1 14.0%、小研修室2 9.9%、小研修室3 9.2%、小研修室4 11.4%、和室研修室1 1.8%、和室研修室2 7.7%、音楽スタジオ大 4.4%、音楽スタジオ小1 5.9%、音楽スタジオ小2 0%、クラフト室 5.5%、パソコンルーム 1.5%</p> <p>○スタッフの対応について 満足 81.3%、やや満足 9.6%、ふつう 9.2%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p> <p>○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 77.2%、やや満足 13.6%、ふつう 8.1%、やや不満 0.7%、不満 0.4%</p> <p>○全体的な満足度 満足 78.7%、やや満足 14.0%、ふつう 7.4%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p>
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・机の下がこわれている。(小研修室3) →確認したところ、机の一部に破損がありました。 現在は、破損のないテーブルと交換しております。 今後も何かお気づきの点がございましたら、スタッフまでお知らせください。 ・着付けは、練習中とても暑いです。冷房をもう少し下げて使えるようにしてください。(和室研修室2) →節電のため、熱中症の危険性が高くなる体育ルームや子ども部屋の除き、冷房温度の下限を25℃とさせていただきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。 ・ホームページで部屋の空き状況が分かると助かります。(音楽スタジオ大) →岐阜市の施設予約サービスから空き状況の確認ができます。 くわしくは「貸室のご利用」内の「空き状況の確認方法」の項目をご覧ください。(URL掲載) ・イスに髪の毛が残っていたり、汚れた座面の物がいくつかあった。(大研修室) →この度は、不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。 すぐに点検を実施し、汚れのある椅子を撤去しました。今後は、清掃・点検を徹底いたします。 ・Wi-fiの接続が不安定でした。(中研修室) →ご不便をおかけして申し訳ございません。 確認いたしましたところ、現在は問題なくご使用頂けます。 お部屋の使用にあたりお困りの際は、内線にてスタッフまでお知らせください。 ・イスを増加できない。(小研修室4) →各部屋には定員分のイスを準備しております。ご了承ください。 ・ピアノの調律をしていただけると嬉しいです。(音楽スタジオ大) →ご不便をおかけしました。ピアノの調律は年2回実施しています。 2月は調律の予定月でしたので、ご意見をいただいた直後の休館日(2/27)に実施済みです。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
	区分評価					A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	S	S	S
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	A	A	A
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	A	A	A
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	S	S
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
	施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	A	A	A	
区分評価					A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きく離れていないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	S	S	S
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
区分評価					A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	A	S	S
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民協働推進部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	A	A	A
区分評価					S	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエア-G内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	A	A	A
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み
に対する評価

●生涯学習/女性/センター

指定管理仕様書・事業計画書及び市の方針に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設の運営・管理と事業展開を行った。

<施設管理>

- ・利用者からの要望を基に、改善できるところはないか検討し、以下のような改善を図った。
 - ・大研修室 音響・映像設備の改修
音響・映像設備を操作しやすいように改修(配線の変更、切替装置の設置)
 - ・音楽スタジオ設備の充実
音響機材(ベースアンプ、ギターアンプ、キーボード)、電源タップ等の入替
 - ・研修室用椅子の特別清掃
座面に付着したシミ・汚れを除去
- ・事故防止対策として、定期点検の他、日常的に施設・設備の点検を行い、**危険箇所や要修繕箇所の早期発見と、迅速な対応**を実施した。
 - ・空調設備修繕
子どもの部屋室内機不良部品取替、ファッションライブラリー系統室外機不良部品取替
研修室50全熱交換機ガンパモータ取替
 - ・消防設備修繕
自動火災報知設備感知器取替
 - ・照明設備
器具不良箇所のLED化(共用部、図書館分館、大研修室、小研修室、音楽スタジオ、平和資料室他)
 - ・その他
子どもの部屋 雨漏り修繕(谷樋の改修、天井材および床材張替え)
駐車場 車止め補修
- ・光熱水料費が高騰する中、利用者へ協力を求め、無理のない範囲内で、**日常的に以下のような省エネ対策に取り組んだ。**
 - ・空調設備
冷暖房時の設定温度範囲を制限、利用状況に応じた効率的な空調機器の使用
 - ・電気設備
電力デマンド監視装置の活用、必要のない場所のこまめな消灯
- ・新型コロナウイルス感染症の「5類」移行後も、**利用者がそれぞれの希望に応じた感染対策**ができるよう、対策グッズ(消毒セット、検温器、扇風機など)を引き続き設置した。
- ・各種安全マニュアルに基づき、安全・安心な施設運営に努め、今期も大きな事故やケガなどはなかった。
- ・利用者の安全・安心を最優先とした上で、業務の効率化や調達コストの最適化、省エネ対策の推進を図り、**可能な限り経費縮減に努めた。**

<リスク対応>

- ・防犯対策として、防犯カメラでの監視や警備員の巡回に加え、職員が日常的に館内を巡回した。また、**不審者情報等をハートフルスクエアG全体で共有**し、連携して利用者の安全確保に努めた。
事例:・トイレでの閉じこもり
 - ・多目的トイレ 床水浸し
 - ・便器へ異物の投入
 - ・自由通路での喫煙等迷惑行為
- ・**警察署と連携**を取り、不審者に対して職務質問や警戒体制を引いていただくことで、**事故を未然に防ぐ**ことができた。
- ・駐車場内において、物損事故が2件発生したが、迅速にかつ適切に対応した。
- ・危機管理の上で、**夜勤では不審者対応として必ず男性職員を配置**した。また、日勤でも副所長以上の職員を必ず1人は配置し緊急事態に備えた。
- ・JR岐阜駅に隣接する施設として、南海トラフ地震発生を想定し、岐阜市帰宅困難者対策マニュアルを検証した。今期は**情報伝達訓練に合わせ、マニュアルをもとに帰宅困難者対応訓練を実施**した。
- ・防災士の資格を有する職員を中心に、**緊急時、災害時の対応についてマニュアルを基に共通理解**を図った。今期は通常の消防訓練だけでなく、**誤報の場合の対応訓練も併せて実施**した。またカーエレベーターの閉じ込め救出訓練、緊急地震速報対応訓練も実施し、**緊急時の対応の強化**を図った。
- ・“応急手当協力事業所”登録施設として、職員がAEDを的確に使用できるよう普通救急救命講習を受講し、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当や救急隊到着までの応急措置を行っている。
- ・個人情報保護・情報セキュリティ研修を受け、個人情報保護担当者を配置し、情報漏えいや不適切な情報発信が起きないよう**個人情報管理の徹底**を図った。メール誤送信対策として従来のメールセキュリティ対策ソフトウェアに加え、**送信前に二重確認を確実にを行うことができるソフトウェアを導入**している。
- ・イラストや画像の著作権侵害を回避するため、**著作権上の留意事項についてマニュアルを作成**し、それに基づいた研修を実施することで、全職員への徹底を図った。
- ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対する姿勢を示した。

<その他>

- ・生涯学習/女性/センターの主催講座及び市民自主講座、文化振興事業は、岐阜市の「**長良川大学**」講座に位置づけられており、令和5年度下半期には**生涯学習:24講座、女性センター:3講座、市民自主講座:18講座、文化振興事業:2講座・5公演・3事業を実施**した。
- ・快適な公共空間を提供するため**アダプト・プログラム**に参加し、ハートフルスクエアG全体で施設周辺の美化に努めた。
- ・館内の**にぎわい創出の一環**として、**中央階段前の吹き抜け部分に季節や行事に合わせた装飾**を行った。
(例:ハロウィン、冬景色、ハートフルフェスタ等)
- ・**岐阜大学全学共通教育科目(社会教育士養成課程)「社会教育実習」履修の学生4名**に、生涯学習の現場での講座運営について学びの場を提供した。
- ・市外中学校からの依頼により、「**職場体験学習**」として**中学生3名**を受入れ、きめ細やかに指導・支援を行った。

今期の取組み
に対する評価

<実施事業>

●生涯学習センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術推進基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、岐阜市における生涯学習の啓発・推進に努めた。
生涯学習センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。なお、生涯学習、文化振興各係の講座は「長良川大学」講座として実施した。

◇生涯学習係

生涯学習拠点施設として機能の充実に励み、誰もがいつでも自らを磨き、学びの成果を生かせる環境づくりに取り組んだ。

・生涯学習へのきっかけと現代的課題・地域課題の解決に向けた学習機会の充実

講座事業において、学習機会の充実のために「老老介護」といった地域課題の解決に向けた題材や、「岐阜城」や「信長」、「源氏物語」、「和菓子」などといった身近で話題性のあるテーマを題材に実施することで、市民の多様なニーズに対応し、高い満足度を得ることができた。また、多様な場面において関係機関・団体との連携することで、各事業内容の充実と情報及び学習機会の拡充を図った。

・ハートフルレクチャー

「ほげますから、よろしくお願ひします。」(講演会)

障がいの有無に係わらず学習に親しむことができる場とするため、パソコン要約筆記や手話通訳を導入した。導入にあたっては、市高齢福祉課や市障がい福祉課の協力を得ることで、関係施設・団体に幅広く情報発信を行った。

「ほげますから、よろしくお願ひします。」(映画上映会 3回)

誰もが気軽に参加できるように、講演会やワークショップ形式だけではなく、映画上映会を実施した。音声ガイドや日本語字幕付上映を行うことで、学びの場の拡充を図った結果、はじめて当センターの事業に参加した人が半数を占め、生涯学習のきっかけづくりを担った。

・各種団体との連携講座

「発掘調査から見える岐阜城の姿」

昨年2月に「岐阜城」に関する講座を実施した際に、「もっと学びたい」という要望が多く寄せられたことから、岐阜市埋蔵文化財調査事務所と連携し実施した。

・「パソコン講座」(第3期・第4期)

パソコン技術を習得した市民による「岐阜ITコラボレーター会」と協働でパソコン講座(12講座86回)を実施し、ワードやエクセル、パワーポイントなどの基礎的な知識や技能を学ぶ場を提供した。

・地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の育成

・市民自主講座の開講支援

令和5年度は48名の市民講師が講座を開講し、そのうち18講座が開講。9月～2月にかけて延べ83回で688名が参加した。講座終了後にサークル化へとつなげた講師や岐阜市地域活動情報システム“まなバンク”へ登録をした講師もあり、市民講師の育成と市民活動の発展に寄与した。

・市民講師養成講座

「魅力ある講師になるための、はじめの一步」(コース講座・全4回)

新たにワークショップを取り入れ、実践的な内容とした。修了者には、地域で活躍できるよう市民自主講座の開講や岐阜市地域活動情報システム“まなバンク”への講師登録を勧め、学んだ内容を生かす場を提供した。

「なぜか聴きたくなる人の話し方～伝える会話のレシピ～」(公開講演会)

公開講演会では、コロナ禍で鈍化した市民間の交流を活性化させるため、誰とでも会話が弾むコミュニケーションの方法を学ぶ場を提供した。

・市民講師ステップアップ講座

「参加者の緊張をほぐすアイスブレイキング～基礎編～」

スムーズな進行や活発な意見交換を行うために有効なレクリエーションを使ったアイスブレイキングの技法を学ぶ場を提供した。

・ボランティア講座

「コミュニティカフェへの招待状 ～ほっとできる居場所～」

コミュニティカフェを題材とした講座を実施。講座終了後にコミュニティカフェ(居場所づくり)に関わる相談や個人ボランティア登録を希望する受講者もあり、社会参加やボランティア活動へのきっかけを提供した。

・生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信

・「ハートフルフェスタ2024」

岐阜市地域活動情報システム“まなバンク”に登録している団体に、日頃の活動や成果を紹介する場として参加を呼びかけ、ステージ発表22団体、展示15団体、体験ブース12団体が参加した。

・にぎわい創出事業

「“まなバンク”登録団体による ランチタイムコンサート」

歌唱やダンス、大道芸の披露などの公演を実施し、日頃の活動成果を発表する場を提供した。

・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援

生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、きめ細やかな対応に心がけ、昨年度の下期と比べ、コーディネート件数123%(57→70)に増加した。

岐阜市地域活動情報システム“まなバンク”を制作・運営し、市民に対して岐阜市内で活動しているサークルや市民活動団体、市民講師の情報を公開し、生涯学習やボランティアなどの情報発信に努めた。

「生涯学習・ボランティア通信誌」vol.93、vol.94を発行し、「講座案内」に加えて、「講座レポート」や「活動レポート」を充実させ、講座や活動に参加できなかった市民に対して情報を共有した。

社会貢献活動をしている7名を取材し、広報ぎふボランティア通信欄で紹介することで、地域の社会貢献や福祉活動への関心を高めた。

生涯学習・ボランティア相談担当職員のスキルアップのため、職員2名がボランティアコーディネーションカ2級を取得した。また2月に開催された全国ボランティアコーディネーター研究会にオンラインで参加するなど、業務に関わる研修や講座に積極的に参加することで、職員資質向上と業務の拡充を図った。

岐阜大学全学共通教育科目(社会教育士養成課程)「社会教育実習」履修の学生4名に、生涯学習の現場での講座運営について学びの場を提供した。

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>◇文化振興係</p>
	<p>・ 岐阜市民文化祭の開催</p>
	<p>・ 岐阜市民芸術祭</p> <p>・演劇の部では、9月に実施したキックオフイベントに続き、新たに演劇の魅力を多くの人に伝えるためパネル展示や舞台裏の様子やリハーサルの模様などの動画上映によるPRを行い、来場者の増加に繋がった。</p> <p>・5部門6種類の事業を開催した。洋舞の部では、若い世代など、より多くの市民に鑑賞いただけるようチケット料を設定し、直近10年で最多の810名の入場者数となった。</p> <p>・芸術祭全体で40公演に来場者4,509名が訪れ、多様な舞台公演を市民に楽しんでいただいた。</p>
	<p>・ 岐阜市文芸祭</p> <p>・小・中学生の部の応募人数は、昨年度比113% (4,675→5,301)に増加した。</p> <p>・新たに、岐阜発祥の文芸「狂俳」ジャンルを小・中学生の部に設けたところ、500名を超える小・中学生から応募があった。</p> <p>・一般の部においては、表彰式後に作品講評会を開催し、参加者から多くの質問が飛び交い、活気あふれる学びの場となり、今後の作品制作につながる場を提供した。</p>
	<p>・ 岐阜市美術展覧会</p> <p>・会場のレイアウトに関し、部門ごとの違いがわかりにくいという声に応え、展示場所の一部見直しを行った。</p> <p>・審査員が一般参加者に対し受賞作品を解説するギャラリートークを、4年ぶりに開会式後と表彰式後に開催したことにより、審査員との交流を喜ぶ声が上がリ、好評を得た。</p> <p>・年少者の作品も審査を経て飾られ、幅広い年齢層の作品展示となった。入場者数2,607名、投稿SNS閲覧数4,298回。</p>
<p>・ 岐阜市芸術文化協会との連携</p>	
<p>岐阜市の芸術文化の創造・発展・保存などへの寄与を目的とする岐阜市芸術文化協会と連携し、各種事業を開催。市民の芸術文化活動の促進及び芸術文化団体との情報交流により、新たな協働による芸術文化の振興に取り組んだ。</p>	
<p>・ リレートーク</p> <p>「ピカソの二重暗号を読み解く～『アヴィニョンの娘たち』(1907)これは、ただの宗教画だったのだ！！」</p> <p>「20世紀美術」の糸口を作り出した、謎だらけの美術家パブロ・ピカソ。たった一つの絵、1908年の「アヴィニョンの娘たち」を分析することで、ピカソの考え方や人生を容易に理解できることを学んだ。</p>	
<p>「羊の国へようこそ～羊毛フェルトの魅力～」</p> <p>ふわふわの羊毛から生まれる羊毛フェルトは、自由自在に様々な色や形を作り出すことができる。柔らかな羊毛が魔法のように固いフェルトへと変化する仕組みや羊毛フェルトの可能性を学んだ。</p>	
<p>・ まちかどコンサート</p> <p>「第2回まちかどコンサート」(12月)</p> <p>協会会員の大正琴一位会、岐阜長良川平成いきいき龍幸会、フラメンコ・ダンサ・フラメンカ、箏曲 岐阜正統社による演奏会を開催し、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。</p> <p>「第3回まちかどコンサート」(3月)</p> <p>協会会員の箏(こと)きらら、プリマムジカ岐阜、岐阜県クラシックギター協会、女声合唱団ヴォーチェ・マルガリータによる演奏会を開催し、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。</p>	
<p>・ 「市文協ニュース」の発行</p> <p>11月と3月に発行。協会の活動を紹介するとともに市民文化祭等の多様な芸術文化に関する情報を掲載し、広く市民に情報提供を行った。</p>	
<p>・ 「ぎふ市民劇 道三 一斎藤道三の半生」開催に向けた取り組み</p> <p>「清流の国ぎふ」文化祭2024において、岐阜市の地域文化発信事業として令和6年11月4日に実施。台本作成や配役の決定、衣裳打合せ等の公演開催に向けた準備を行った。</p>	
<p>・ 自主企画事業の実施</p>	
<p>・ 文化事業助成</p> <p>8件631,320円の助成を実施した。また、既存の文化団体の活動再開や、新たに活動を始める団体の企画により、次年度上半期の助成申請は6件を受付し、4件に対し助成予定である。</p>	
<p>・ 芸術文化奨励賞</p> <p>新たに選考基準の作成し、より公平公正な受賞者選考を行った。</p> <p>第28回芸術文化奨励賞を、田島聖子さん(芸術分野・声楽)及び岐阜新文化会(美術・イラスト)の1名・1団体に授与。この賞は、ぎふしん記念財団の協力のもと行った。</p>	

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>●女性センター</p> <p>指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき事業を企画・実施。必要に応じて、所管課と協議を行いながら、岐阜市における男女共同参画社会の啓発・推進に努めた。女性センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。なお、女性センター主催講座は「長良川大学」講座として実施した。</p>
	<p>・学習機能</p>
	<p>・お出かけお迎え！男女共同参画出張講座</p> <p>岐阜市立女子短期大学公開講座「ホームカミングデー企画～女性の活躍に向けて～」 学生や社会人など幅広い世代に、男女共同参画の推進や女性の活躍に向けた日本の取組を啓発するとともに、将来を見据えて参加者自身のライフデザインを考えるきっかけとなる講義を行った。また、出張講座を行うことで、女性センター事業を広く知ってもらい機会となった。</p> <p>・心とからだ・性の健康関連セミナー</p> <p>自分の特性を知ってもっと楽に生きよう！～女性の発達障がいを学ぶ～ 周囲と上手くコミュニケーションが取れず、学校や職場、家庭に居場所がないと悩む女性が多い現状が、相談業務を通してみえてきた。女性の課題を解決するため、岐阜大学と連携し、女性の発達障がいの特性を正しく理解し、生きづらさを軽減する術を学ぶ場を提供した。「女性の発達障がい」や「自分の特性」というワードに市民の関心が多く寄せられ、定員の2倍を超える応募となった。さらには、受講者の約65%は女性センター事業初参加であった。</p> <p>・男女共同参画セミナー</p> <p>更年期って何だろう～こころとからだの変化～ 女性のライフスタイルが多様化する中、生涯を通じて健康で明るく過ごせるよう、市保健衛生部と連携し、「女性の健康週間」と「国際女性デー」に併せて「更年期」に焦点をあてた講座を実施した。今回は、各自自治体から取り寄せた様々な健康関連資料や啓発用ウェットティッシュを参加者特典とするなど、広報活動に力を入れたこともあり、応募に反響があった。また、女性特有と思われていた「更年期」が男性にもあることが注目され始めたこともあり、受講者の2割が男性で関心の高さが伺えた。</p>
	<p>・交流機能</p>
	<p>・ハートフルネットぎふ例会</p> <p>男女共同参画社会の実現に向けて、女性センターを利用している市民団体を中心に、毎月第2木曜日に集い、最新の話題や発行・発信された情報を基に、会員同士意見交流を行った。今期は、「防災分野における女性参画の必要性」と「性的少数者への正しい理解」に着目した学習会を行った。今年度からグループワークを取り入れたことにより、活発な意見交流が図れるようになった。</p> <p>・ハートフルフェスタ2024</p> <p>ハートフルネットぎふの登録団体による講座や体験コーナー以外にも、親子リトミックなどの家族で楽しめる講座やステージ発表など、幅広い内容で開催したことにより、世代を問わず多くの市民で賑わった。</p>
<p>・情報機能</p>	
<p>・市民への情報発信</p> <p>インスタグラムやX(旧ツイッター)においてタイムリーな情報発信を心掛け、HP・SNS発信件数は昨年度下期と比べて198%(60→119件)増加した。</p> <p>・ぎふし男女共同参画情報紙「織」の発行</p> <p>岐阜市立女子短期大学の学生を編集委員に加え、学生ならではの視点で企画編集を行った。今回は、朝日大学と連携し、法学部大野教授と男子大学生4名を招き、「男女で考える人生観の違い」をテーマに座談会を実施した。学生への事前アンケートとライフデザインシートをもとに、様々な視点で活発に話し合うことができた。編集委員からは「座談会を通して、ライフデザインの多様性に触れることができ、自分たちの未来の選択肢が広がった」など前向きな意見を聞くことができた。</p> <p>・複合施設の特徴を生かした情報発信</p> <p>「ワークライフバランス」及び「女性に対する暴力をなくす運動」の展示(11月) 「国際女性デー」及び「女性の健康週間」の展示(3月) 1階壁面にパネル展示をするとともに、1階図書館分館内においても関連図書の展示をするなど、ハートフルスクエアGの特徴を生かしながら、より広く情報を発信することができた。</p>	
<p>・相談機能</p>	
<p>・電話相談においては、「女性と社会のつながりサポート事業」と連携しながら、より専門的な支援先へ繋げることができた。</p> <p>・専門相談の啓発に努め、あんしんつながりステーションでの声掛けやSNSでの情報発信などを積極的に行った。特に健康相談においては、昨年度と比べて206%(17→35件)の大幅な増加となった。</p> <p>・電話相談やあんしんつながりステーションにおいて、専門相談への繋がりを照会するものの相談者ニーズの減少が見受けられたことから、相談内容を再度検証し、次年度の専門相談に反映させた。</p>	

<p>前回までの意見の 取組み状況</p>	<p>●所管課の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女性センター:様々な課題や困難を抱える女性に寄り添った支援ができるように、関係機関との連携強化に努めていけるよう期待する。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 困難を抱える女性に寄り添った支援ができるよう、関係機関とケース検討会や研修会を積極的に実施するなど、関係機関との連携強化に務めた。 ● 文化振興係:今後も効果的な情報発信を実施しながら、長い歴史のある市民文化祭をより多くの人に参加いただけるよう盛り上げていきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 市民文化祭全体として、Instagramに加え新たにフェイスブックでの積極的な情報発信することで興味のある人への情報共有や新たなつながりを作った。 ⇒ 市民芸術祭演劇シーズン2023において、舞台芸術の魅力をとくに体験するキックオフイベントを行うことで文化の裾野を広げた。 ⇒ 美術展覧会の展示会場のレイアウトに関し、部門ごとの違いがわかりにくいという声に応え、展示場所の一部見直しを行った。 ⇒ 美術展覧会審査員が一般参加者に対し受賞作品を解説するギャラリートークを、4年ぶりに開会式後と表彰式後に開催したことにより、審査員との交流を喜ぶ声が上がリ、好評を得た。 <p>●指定管理者評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後は、世代間の交流を図るような事業の開発・実施が課題となると思う。 <ul style="list-style-type: none"> (学習) ⇒ 世代間交流を図る事業を実施するため、参加者同士の交流を促すワークショップ形式を取り入れた講座を実施した。 (文化) ⇒ 市民芸術祭演劇シーズン2023において、舞台芸術の魅力をとくに体験するキックオフイベントを行うことで文化の裾野を広げた。 (女性) ⇒ 「更年期」をテーマにすることで、自身や親世代、パートナーなど様々な世代や立場から考え、交流できる講座を実施した。 ● 情報発信は積極的に行われているが、発信と合わせ、いかに受け手に情報を受け取ってもらうかも考える必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> (学習) ⇒ 「受け手」に伝わる情報を発信するため、「受け手」に合わせた情報発信に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・SNS世代に向けてはInstagramを利用した講座情報や館内の催し案内を発信した。 ・手話通訳や音声ガイド等を導入する事業については、市高齢福祉課や市障がい福祉課の協力を得て、関係団体や施設等に幅広く情報発信を行った。 (文化) ⇒ 市民文化祭全体として、Instagramに加え新たにフェイスブックでの積極的な情報発信することで興味のある人への情報共有や新たなつながりを作った。 (女性) ⇒ 幅広い世代に向けた情報発信を行うため、ぎふし男女共同参画情報紙「織」を発行するにあたり、岐阜市立女子短期大学の学生を編集委員に加えて実施。学生ならではの視点で企画編集を行った。 ● 講座のターゲットによっては、大学等での出前講座を行ったり、積極的に参加を呼びかけたりすることも検討してもどうか。 <ul style="list-style-type: none"> (学習) ⇒ 若い世代ならではの視点を取り入れるため、大学生の実習生を受け入れ、生涯学習の現場での講座運営について学びの場を提供した。 (女性) ⇒ 岐阜市立女子短期大学へ出張講座として出向いたことで、学生や社会人など幅広い世代に対して男女共同参画の推進を図るとともに、女性センター事業を広く知ってもらう機会となった。 (女性) ⇒ ぎふし男女共同参画情報紙「織」において、編集委員として参加する岐阜市立女子短期大学の学生の提案により特集企画を実施。朝日大学と連携し、法学部大野教授と男子大学生4名を招き、「男女で考える人生観の違い」をテーマに座談会を実施した。学生への事前アンケートとライフデザインシートをもとに、様々な視点で活発に話し合うことができた。
<p>今後の取組み</p>	<p>生涯学習センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習拠点施設としての機能を生かしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。次年度においても、孤独・孤立対策や介護、リカレント教育といった、世間や生涯学習で注目されるテーマも含め、講座を企画する。 ・生涯学習・ボランティア活動に係わる相談及び活動支援において、団体や個人の声に耳を傾け、活動の再開や継続の助けとなる情報の提供に努める。 ・生涯学習・ボランティア活動に係わる相談及び活動支援において、継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。また、地域活動情報システム「まなバンク」を活用して、地域人材の活性化に努める。 ・ボランティアコーディネーション力の資格を積極的に取得し、相談業務および活動支援の充実を図る。 ・地域づくり、まちづくりの推進役となる人材を育成するため、「市民講師養成講座」と「市民自主講座」、「パソコン指導者養成講座」などを実施し、市民がこれまで培ってきた知識や技術、能力を生かして活動する講師の養成と活躍機会の充実を図る。 ・障がいの有無に係わらない学びの場を提供するため、岐阜市障がい福祉課や特定非営利活動法人ぎふ聴覚者協会等と協力し、手話通訳やパソコン要約筆記、音声認識アプリ、音声ガイドなどを取り入れた講座の充実を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行から1年経過するため、更なる事業の活性化を図るため、岐阜市民文化祭(市民芸術祭・美術展覧会・文芸祭)の市民への事業の周知と作品制作者の意欲向上のため、継続的な事業実施に取り組む。 ・文芸祭の作品展と表彰式において、観覧者の増加及び表彰者の喜びを深めるため、より魅力的な演出方法について検討を図る。 ・岐阜市美術展覧会においては、例年とは異なる会場で、分散実施することから、市民への周知や、搬入から会場設営まで、滞りのないように取り組む。 ・令和6年度は「清流の国ぎふ」文化祭2024が開催される。岐阜市民文化祭の事業も「地域発信事業」として位置づけられているため、所管課・文化芸術団体との情報交換や連携を取りながら、盛り上げる。 ・「清流の国ぎふ」文化祭2024において、岐阜市芸術文化協会との共催で「ぎふ市民劇 道三 一斎藤道三の半生一」を実施するため、これまで以上に協力体制を整え事業に取り組む。 <p>女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画拠点施設として、令和4年度に改定された「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、男女共同参画社会の実現を目指した事業展開を図る。 ・「サード・プレイス(第3の居場所)」として、会話を楽しみ、心と身体がリラックスできる時間と空間(居場所)を提供する。また、女性センター窓口への来訪を促し、顔の見えるセンターを構築する。 ・相談機能を生かし、見えてきた女性の現代的課題に焦点をあてた学習事業の展開を図る。また、女性の悩みや困りごとに寄り添うため、専門相談の内容を全面的に見直し、解決に向けた内容を提供する。 ・男女共同参画の推進を図るため、女性団体の活動支援に努める。 ・様々な課題や困難を複合的に抱える女性を適切な機関につなげるために、関係機関とケース検討会を実施するなど連携を強化していく。

●所管課の意見

生涯学習センター

- ・現代的課題・地域課題の解決へ向けた講座や、地域づくり、まちづくりのための人材育成講座のほとんどが100%を超える応募率であり、大変魅力のある企画内容であると評価できる。
- ・電力デマンドの設置や、効率的な空調機器の使用に努め、光熱水費の節約に努めている。
- ・施設の日常点検及び定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために努めている。
- ・大学生の実習生の受け入れやワークショップ形式を各講座に積極的に取り入れるなど、前回の評価委員会の意見を踏まえた施策がとられている。
- ・生涯学習・ボランティア相談担当職員2名が新たにボランティアコーディネーション検定2級を取得するなど職員資質向上に努めている。

女性センター

- ・「心とからだ・性の健康関連講座」では相談業務を通してみえてきた女性の課題を解決するため、女性の発達障がいに関心をもち、焦点をあてテーマを選定しており、相談機能と連携させて企画していることが評価できる。「男女共同参画セミナー」では女性特有と思われていた「更年期」が男性にもあることが注目され始めたこともあり更年期障害をテーマに選定したことから、男性も興味を持つことができ男性受講者の増加を図ることができた。
- ・HPやSNSでの情報発信に力を入れ、広く講座や相談窓口の周知を図ったことで、新規の講座受講者の獲得や、相談者数の増加がみられたことは評価できる。
- ・「女性と社会のつながりサポート事業」と「女性センター相談事業」とで相互に連携しながら事業を実施することで、電話相談においてより専門的な支援へ繋げることができたことは評価できる。今後についても、様々な課題や困難を複合的に抱える女性を適切な機関につなげることができるよう、関係機関とのケース検討会の実施などにおいて連携体制をより強化していき期待する。

文化振興係

- 文化振興業務は、事業計画に基づき、岐阜市の施策に沿った事業が市民及び文化芸術団体との協働により安全・円滑に実施されていた。
- 「芸術祭」では、新たにハートフルスクエアG内キュービクギャラリーにて演劇公演に関するPRを実施し、本番の来場者につなげたこと、「文芸祭」では、小・中学生の部で新たに狂俳を実施し、文芸の裾野を広げたこと、「美術展覧会」では、前年度のアンケートをもとに展示場所の見直しを行い、展覧会の観覧しやすい会場づくり努めたことが評価できる。
- 今後も効果的な情報発信を実施しながら、作品募集や成果物、アンケート等のDX化を進めるなど、長い歴史のある市民文化祭がより充実した内容になることを期待する。特に、文芸祭の表彰式や作品展では、多くの人が集い、文芸への関心を高めるような内容、企画を期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・あんしんつながりステーションはリピーターもおり業務の負担は大きいと思うが、素晴らしい役割を果たしていると思う。
- ・講座については、オンデマンドでの提供や複数会場での開催などを検討してはどうか。